

EIKOSHA 改訂のお知らせ 2021年9月



英光社イメージキャラクター
『チキン犬』

- 1 完全分類全経簿記3級商簿【2021秋】
- 2 完全分類全経簿記2級商簿【2021秋】
- 3 全経簿記1級原価計算・工業簿記直前模試【2021年11月検定対応】
- 4 全経簿記1級商業簿記・会計学直前模試【2021年11月検定対応】
- 5 全経簿記検定試験PAST2級商簿【196回類題～203回類題】
- 6 全経簿記検定試験PAST3級商簿【196回類題～203回類題】

1 完全分類全経簿記3級商簿【2021秋】

改訂内容

1. 203回仕訳問題2.に新傾向の問題が出題されましたので、本書を改訂いたしました。

従業員個人が負担すべき物品購入代金¥70,000を立て替えて、現金で支払った。

新試験規則に改正後、立替金の出題はありませんでしたが、203回において出題されたため、今回の改訂で追加掲載いたしました。

該当ページ P.13:1-3 その他の債権・債務「立替金」 第2問問15の後に新問16として掲載

2. 202回精算表問題に新傾向の問題が出題されましたので、本書を改訂いたしました。

決算整理事項

3. 備品：減価償却 備品は前期首に¥1,800,000で購入し、直ちに使用に供したものである。

備品を前年度に取得したとする出題はこれまでありませんでしたので、今回の改訂で追加掲載いたしました。

該当ページ P.46:4-1 精算表 第2問を202回第5問の類題と差し替えて掲載

3. 201回精算表問題に新傾向の問題が出題されましたので、本書を改訂いたしました。

決算整理事項

4. 現金過不足の残高は、広告費¥21,000の記帳漏れが原因であるため、適切に処理する。

5. 消耗品の未使用高 ¥48,000

6. 家賃の前払高 ¥42,000

決算整理事項の4・5・6は、①現金過不足の整理、②消耗品の未使用高、③未払費用、④前払費用の4つの中から3つが出題されています。201回ではこれまで出題のなかった①②④の組合せが出題されましたので、今回の改訂で追加掲載いたしました。

該当ページ P.49:4-1 精算表 第8問を201回第5問の類題と差し替えて掲載

2 完全分類全経簿記2級商簿【2021秋】

改訂内容

1. 202回仕訳問題1.に新傾向の問題が出題されましたので、本書を改訂いたしました。

福岡食品株式会社は、大分漁業株式会社から商品¥350,000を仕入れ、代金は、さきに佐賀物産株式会社から受け取った約束手形¥200,000を裏書譲渡し、残額は掛けとした。

新試験規則に改正後、手形割引の出題は3度ありましたが、裏書譲渡の出題はありませんでした。202回で手形の裏書譲渡に関する問題が出題されたため、今回の改訂で追加掲載いたしました。

該当ページ P.9:1-2 手形「手形の裏書及び割引」 問6を上記と差し替えて掲載

2. 202回仕訳問題3.に新傾向の問題が出題されましたので、本書を改訂いたしました。

長崎海運株式会社は、リース料¥300,000を小切手を振り出して支払った。なお、このリース取引はオペレーティング・リース取引と判定された。

リース取引の出題はこれまでありませんでしたが、202回にオペレーティング・リース取引の問題が出題されたため、今回の改訂で追加掲載いたしました。

該当ページ P.12:1-5 収益と費用「支払リース料」 問3を上記と差し替えて掲載

3. 202回仕訳問題5.に新傾向の問題が出題されましたので、本書を改訂いたしました。

愛知貿易株式会社は、期末に消費税額を確定した。当期に仮払いした消費税は¥82,000、仮受した消費税は¥79,000である。なお、税抜方式によること。

新試験規則に改正後、消費税の決算時に関する処理の出題はこれまでありませんでしたが、202回に期末における消費税の処理方法の問題が出題されましたので、今回の改訂で追加掲載いたしました。

該当ページ P.13:1-6 消費税「消費衛の計上・還付・納付」 問3を削除し新問10として掲載

4. 202回仕訳問題4.に新傾向の問題が出題されましたので、本書を改訂いたしました。

宮崎観光株式会社は、建物の改良と修繕を行い、代金¥280,000は月末に支払うこととした。代金のうち¥210,000は改良のための支出であり、残額は修繕のための支出である。なお、この修繕のために修繕引当金¥56,000が設定されている。

これまでも建物の修繕に関する出題はありましたが、202回に建物の改良と修繕に関する問題が出題されたため、今回の改訂で追加掲載いたしました。

該当ページ P.18:1-11 引当金「修繕引当金」 問3に続き新問4として追加掲載

5. 第3章帳簿記入問題 3-1の第3問を差し替えました。

問題の詳細は本書でご確認ください。

これまでは第3問・第4問とも売上値引の問題でしたので、第3問を仕入値引の問題と差し替え、検定試験のバリエーションに対応いたしました。

該当ページ P.36:3-1売上帳・仕入帳の記入面から各種帳簿記入と金額算定 問3を198回第3問の類題と差し替えて掲載

6. 精算表の問題を3問差し替えました。

問題の詳細は本書でご確認ください。

最近の出題では、付記事項で現金過不足の処理が問われるか、決算整理事項で現金実査を行い、現金の帳簿残高との不一致原因を調査する問題が定型化しています。また、決算整理事項の未払法人税等の処理で、中間申告額が与えられることが多いことから、下記3問について直近の類題と差し替えました。

該当ページ

P.50 : 5-1 精算表	第1問を201回第5問の類題と差し替えて登載
//	第2問を202回第5問の類題と差し替えて登載
//	第3問を203回第5問の類題と差し替えて登載



3 全経簿記1級原価計算・工業簿記直前模試【2021年11月検定対応】

改訂内容

1. 第2回第1問 問3を差し替えました。

総合原価計算においては、仕損の費用は、原則として、特別に仕損費の費目を設けることはしないで、これをその期の完成品と月末仕掛品とに負担させる。この計算方法のことを(カ) (【選択肢】: 度外視法、累加法) という。

新試験規則に改正後、仕損費の出題は2度ありましたが、202回に3度目の出題があったため、今回の改訂で、これまで掲載していた連産品の問題から仕損費の問題に差し替えました。

該当ページ

第2回第1問 問3を上記と差し替えて登載

2. 第3回第2問 問4を差し替えました。

準原価計算において、仕掛品勘定の借方に実際直接労務費を記帳するパーシャル・プランを採用している場合、次のデータから作業時間差異を計上する。

標準賃率: ¥1,580/時間 標準直接作業時間: 2,700時間 実際直接作業時間: 2,630時間

新試験規則に改正後、作業時間差異の出題は3度ありましたが、202回に4度目の出題があったため、今回の改訂で、これまで掲載していた第1工程の完成品を第2工程に振り替える問題から、作業時間差異の類題に差し替えました。

該当ページ

第3回 第2問 4を上記と差し替えて登載

3. 第7回第3問を差し替えました。

問題の詳細は本書でご確認ください。

新試験規則に改正後、製造間接費勘定の作成問題の出題は1度あり、202回に2度目の出題がありました。一方で、これまで掲載していた製造間接費の配賦方法を問う問題は、新試験規則に改正後、出題が一度もありません。そこで、今回の改訂で、これまで掲載していた製造間接費の配賦方法を問う問題から、作業時間差異の類題に差し替えました。

該当ページ

第7回 第3問を上記と差し替えて登載



4 全経簿記1級商業簿記・会計学直前模試【2021年11月検定対応】

改訂内容

1. 202回仕訳問題6.に外貨建取引（未払金の決済）の出題がありましたので、本書を改訂いたしました。

当社は、前期に米国企業から輸入し使用を開始した備品\$18,000の代金を、本日、米国にある取引銀行の当座預金より支払った。購入日、決算日及び支払日の為替レートは、それぞれ\$1あたり¥103、¥108、¥110である。

新試験規則に改正後、外貨建未払金の決済に関する出題はありませんでしたが、202回に初めて出題されたため、これまでの外貨建買掛金の決済問題から外貨建未払金の決済問題の類題に差し替えました。

該当ページ 第7回第2問 問6. を上記と差し替えて掲載

2. 203回仕訳問題4.に固定資産の減損の出題がありましたので、本書を改訂いたしました。

当社の保有する店舗用建物（取得原価¥40,000,000、減価償却累計額¥28,000,000）について、収益性が著しく低下していることが判明した。当該建物の正味売却価額は¥3,500,000、使用価値は¥4,200,000と見積もられた。減損処理を行う前の取得原価から減損損失を直接に控除する方法を採用すること。

新試験規則に改正後、固定資産の減損に関する出題は2度ありましたが、203回に3度目の出題があったため、今回の改訂で、これまで掲載していた繰越利益剰余金の配当・処分に関する問題から、固定資産の減損に関する問題に差し替えました。

該当ページ 第6回第2問 問5. を上記と差し替えて掲載

3. 203回第3問に銀行関係調整表の出題がありましたので、本書を改訂いたしました。

取引銀行から当座預金の残高証明書を取り寄せ、当社の勘定残高との不一致の原因を調査した。次の事項が判明したので、銀行勘定調整表に記入しなさい。なお、〔 〕には時間外預入、未取立小切手、未取付小切手、未渡小切手、誤記入訂正のうち、最も適当な用語を記入すること。ただし、すべての空欄が埋まるとは限らない。

- (1) 広告宣伝費¥196,000を支払うために振り出したはずの小切手が、実際には相手方に未渡しであった。
- (2) 買掛金¥115,000を支払うために振り出した小切手が、未取付けの状態であった。
- (3) 売掛金¥123,000を小切手で回収し、夜間金庫に預け入れた。

新試験規則に改正後、銀行勘定調整表に関する出題はありませんでしたが、203回に初めて出題されたため、これまでの有価証券に関する決算時の処理に関する問題から銀行勘定調整表に関する問題に差し替えました。

該当ページ 第4回 第3問を上記と差し替えて掲載



5 全経簿記検定試験PAST2級商簿【196回類題～203回類題】

6 全経簿記検定試験PAST3級商簿【196回類題～203回類題】

203回検定が施行されましたので、類題を作問し収録回数に入れ替えを行いました。